

核融合科学研究所オープンキャンパス2018 「体感！体験！プラズマエネルギー」

高畑 一也

9月8日に、毎年恒例の秋のイベント、オープンキャンパス（一般公開）を開催しました。今回で21回目となったオープンキャンパスは、「体感！体験！プラズマエネルギー」のテーマのとおり、楽しんで科学に触れることができる体験型イベントです。職員がアイデアを出し合って、自ら製作した科学実験などを企画するため、通常の科学館では見られない展示をご覧ください。また恒例となっているペットボトルロケット、セラミック折り紙、工作教室、マスコットキャラクターたちとの交流は、子どもたちに大人気です。もちろん、施設の一般公開として、ドラマの撮影にも使われた制御室、普段は見るできないスーパーコンピュータも間近にご覧いただけます。さらに大型ヘリカル装置（LHD）の内部を忠実に再現したバーチャルリアリティは臨場感があり、今年は600名近い方が体験されました。

LHDの見学は、大型ヘリカル実験棟の本体室内等が管理区域に設定されているため、事前申込制となりました。申込制を始めた昨年より多い90名



マスコットキャラクターたちがお出迎え
手前から、うながつば、とっくりとつくん、プラズマくん、ヘリカちゃん、ミナモ

を募集しましたが、予想より多くの方にお申込みをいただき抽選となりました。当選されなかった皆さまも、是非来年のお申込みをお待ちしております。

職員によるエネルギーや核融合に関する講演会も、例年人気を集めている企画です。今回は、土



他では見られないプラズマ展示「くるくるヘリカル」



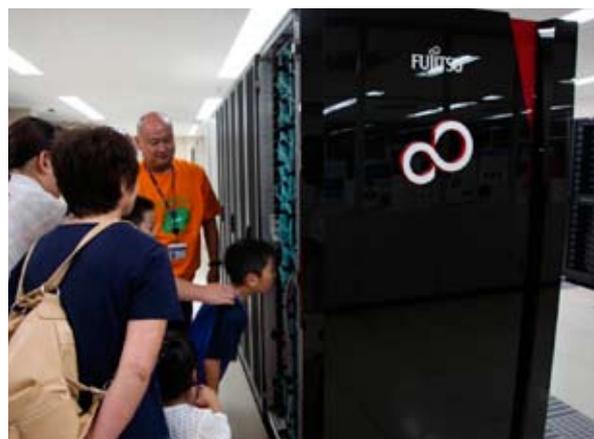
子どもたちに大人気のペットボトルロケット

屋隼人助教による「自然エネルギーと核融合のお話」、伊神弘恵准教授による「波動パワーで温めるプラズマ」の2部構成の講演会を開催しました。どちらも70名近い方に聴講いただき、講演の後も、盛んに質問が出ていました。

オープンキャンパスでは、地元少年サッカーチームによる交流大会も同時開催しています。17回目となる今回の大会も白熱した試合が繰り広げられました。16チームの中から見事にNIFS杯を獲得したのは、多治見市の小泉少年サッカークラブでした。

当日は天候が心配されましたが、雨に見舞われることもなく、約1,500名の方にご来場いただきました。アンケートでは、「工作が楽しかった」「説明が分かりやすかった」「研究所が身近に感じられた」といった嬉しいご意見をいただきました。皆さまからいただいたご意見を参考に、来年も更に内容の濃い、分かりやすい展示、公開を企画いたします。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

(装置工学・応用物理研究系 教授/
オープンキャンパス2018実行委員長)



スーパーコンピュータを間近で見ることができました。



こども工作教室。
今年は「ねこロボット」
を作りました。



少年サッカー交流大会、開会式の様子